

## 機械警備業務処理細目（案）

機械警備業務処理要領の 4（3）に係る事項については、この細目の定めによる。

### 1 送信機器の設置

送信機器は次の機能を備えるものとする。

- (1) 警報装置作動開始及び解除の信号の送信
- (2) 各警備エリアで感知した異常についての信号の送信
- (3) 火災発生感知についての信号（自動火災報知機の移報信号による）の送信
- (4) 施設内各種設備警報盤からの異常についての移報信号の送信
- (5) 警報装置及びセンサーの破壊、故障、配線の切断等による不通等の異常を監視する機能
- (6) 各警備エリアにおいて異常がある場合、警備開始等の通信回線のセットを受け付けられない機能

### 2 受信装置の設置

- (1) 受信機器は、送信機器により送信されてくる上記 1 の信号の種別の判別ができるものでなければならない。
- (2) 受信機器は、通信回線のセット・解除の操作について、操作キーを行った電子キーの特定ができ、操作記録等を警備会社で管理記録ができるものでなければならない。

### 3 警備センサーの設置

各警備エリアを監視する警備センサーについては、少なくともパッシブセンサー（熱感知センサー）を設置することとし、各警備エリアの全域について侵入等を感知できるようにしなければならない。

なお、設置場所の詳細な位置については、委託者、受託者協議のうえ決定することとする。

### 4 職員玄関の電子錠化

- (1) 職員玄関については、外扉に電子錠を設置して施錠及び開錠を行うものとする。
- (2) 電子錠は少なくとも次の機能を備えるものとする。
  - ア ①扉が閉まると自動的に施錠、②扉が閉まっても自動施錠しない、等の切り替えを行うことができる機能。
  - イ 電子キーやサムターン等による直接操作を行う機能。

### 5 出入管理機器の設置等

- (1) 出入管理機器は、出退勤時に警備会社への警備作動の開始・解除のほか、職員玄関の電子錠の施錠・開錠を行うために設置するものとする。
- (2) 出入管理機器は、職員玄関の電子錠を制御するために 1 台、警備エリアを制御するために 1 台設置することとする。
- (3) 出入管理機器は少なくとも次の機能を備えるものとする。
  - ア 非接触カード方式（同等機能以上のもの。テンキー式及び鍵式は不可。）により操作を行う機能。
  - イ 通信回線のセット・解除と職員玄関の施錠・開錠を別個に操作出来る機能。
  - ウ 通信回線のセット・解除の操作について、操作を行った電子キーの特定ができ、操作記録等を警備会社で管理できる機能。
- (4) 警備エリアのセンサーと電子錠を制御する出入管理機器の設置箇所については、職員玄関とし、屋外に設置する場合は、特に機器の誤作動等が生じないような方策（格納ボックスの設置など）を講じなければならない。

### 6 電子キーの設定

- (1) 電子キーは、原則カードキー（ICカード）又はタグキー（非接触型操作キー）とする。
- (2) 原則 1 種類とし、上記 4 から 5 のすべての操作に対応するものとする。
- (3) 学院に対して貸与する数量は 19 個とする。

